

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワークの進め方

(総合 F) それでは、グループワーク 1 に入っていきたいと思います。まず、この青い書類を見ていただければと思います。グループワーク 1、「原子カムラ」とは何だろうか。この進め方に関して、木村さんのほうからお話をしたいと思います。

(木村) 初回ということもありますので、詳しくお話ししたいと思います。青い紙もそうですけども、「フォーラムの目的」と書いてある資料のほうもご参照ください。こちらを使って説明したいと思います。

先ほどもお話ししましたが、目的は、「フォーラム」での対話を通じて、市民と専門家が、お互いを尊重し、コミュニケーションできるようになることを目指す、ということになります。

「フォーラム」は昨年度も行っておりますけれども、昨年度の結果をいろいろ分析したところ、コミュニケーションにはこのようなステップがあるのではないかと、ということが見えてきました。それを「コミュニケーションのステップ」という形でこちらにまとめています。大きくは、「お互いに理解し、尊重する」というステップ、そして、「お互いが変わろうとして、コミュニケーションする」というステップがあるだろうと思っています。

「お互いに理解し、尊重する」ステップとしては、まず、他人は自分とは違うということを知ることです。お互いの普段の考え方や人柄などを知ることによって、人によって意見や判断、価値観が異なるものであることを知ることが、コミュニケーションのステップの一番大切なところだと思います。そしてその中で、共通点もある、あるいは、違うところもあるけれども、それはそういうものなのだというふうにあるがままに受け入れる。このように、お互いに理解し、お互いは違うけれどもそれを尊重しようとするステップが、コミュニケーションの第 1 ステップとして大切なのだと思います。

その上で、「コミュニケーション」に移ります。「コミュニケーション」というのは、単に情報が行ったり来たりすることではなくて、情報が行ったり来たりすることによって、自分も相手も一緒に変わっていかうとすることです。それなので、4 番目のポツは、自分が変わろうとしているかどうかということ。これが、コミュニケーションを取れるかどうかに関わってきます。自分と相手が歩み寄るために、自分が意見や判断、価値観を変えても良いと思えるかどうか。さらには、相手が変わろうとしていることを知る、ということです。自分と相手が歩み寄るために、相手が意見や判断、価値観を変えても良いと思っていることに気づく。このようなステップがコミュニケーションを導いていくということが、昨年度の研究や、いろいろな文献などを参照した結果、見えてきているということです。

なので、今年度のフォーラムでは、まさにこの「コミュニケーション」を念頭に置いて進めていきたいと思っています。ホワイトボードが各班に1台ずつ用意されていますが、そこにフォーラムの目的と、「コミュニケーションのステップ」を掲示しています。これから毎回、こういうふうに提示させていただきますので、あ、何だったかなと思ったら、この紙を見て、気をつけて、コミュニケーションを取るということをぜひ実践していただきたいと思います。それを一緒にやっていきたいと思っています。

では、具体的に話し合うときにどうしたらいいのでしょうか。これに関しては、皆さんに事前に郵送した「コミュニケーション・マニュアル」に、フォーラムで話し合うときに気をつけてほしいことがまとめられています。ただ、これを全て守ることはできるのだろうか、非常に難しいのではないかと、思われた方もいると思います。先ほど紹介しました元気ネットさんの方に聞いても、「コミュニケーション・マニュアル」は勉強になるけれども、全て守るのは難しい、とおっしゃっていました。

なので、その中でも特に気をつけたいところをピックアップしてみました。それが、この「話し合いのルール」です。

まず、1人の参加者としてどうしたらいいか。

1番目。「私は」という一人称で話しましょう。「私たち市民は」とか、「我々専門家は」というふうに意見を言うことがよくあるのですが、そうではなくて、個人と個人がコミュニケーションをするという視点が大切ですので、やはり自分、「私」というものを大切にして、意見を言っていただきたいと思っています。

2番目。誰かが話しているときには、その人が話していることをしっかり聞いてください。他のことを考えてスルーしてしまうのではなくて、相手の話をしっかり聞いた上で、自分の話をする。そういうプロセスをしっかりすることによって、相手を尊重するという態度が出てきます。

3番目。否定の言葉から話し始めないようにしましょう。これは、癖になっている人がたまにいらっしゃるのです。別に否定するつもりがなくても、いきなり「そうじゃなくて」とか、「でも」という言葉で話を始めてしまう人がいます。そこは気をつけてみてください。非常にテクニカルな話ですが、コミュニケーションをしていこう、相手を尊重していこうというときに、こういう話し方をされると、一気にトーンダウンしてしまうことがあります。「なるほど、そのような考えもあるのですね」と一度同意をして、しっかり受け止めた上で、「私の考えはこうです」というように、少し工夫して、気をつけていただくと、話し合いがスムーズに進み、そして、コミュニケーションというものが生まれていくと考えています。

4番目。ここはさらにテクニカルになります。1人が話しすぎてしまって、皆が話せないということが、往々にして起こります。それなので、今回は、これを厳密に守れというわけではないですが、個人個人で気をつけていただきたいと思っています。1人が1回に話

すのは1分以内を目安に話し合っていたいただきたいと思います。

5 番目。グループワークでは、話し合いを取り仕切っていく人、進めていく人、「ファシリテーター」というのですけれども、その人を各グループに配置しています。くじに「ファシリテーター」と書いてある人がいると思います。その人は今日ファシリテーターをするわけですが、そのファシリテーターを助けて、皆さんでグループの中で話し合いが進むようにして行ってください。

続いて、ファシリテーターになったときにどういうことに気をつけるかということを書かせていただいています。

グループの話し合いを回すことに専念してください。場合によっては自分の意見を言うことも大切なのですが、どちらかというと、周りの意見を回すことが大切になってきます。

2 番目。誰かが話しているときは、その人が話していることをしっかり聞く。これは、ファシリテーターになっても、気をつけるようにしてください。どうしても、話し合いを回したい、回したいと思ってしまい、何をどう回そうかと考えてしまって、人の話を聞けなくなってしまう。これが、ファシリテーターの経験者からよく聞かれる話です。そこを少し注意して、一旦しっかり聞いてみるということを念頭におくように心がけてください。

3 番目。全員に話題を振って、皆に話してもらいましょう。

4 番目。どんなに簡単な状況でも、相手の名前を呼んでください。こういうことが、相手を尊重する気持ちになって、コミュニケーションを円滑にするひとつの工夫になります。

ファシリテーターなんて今までやったことがない、という方も多いと思います。そういう方のために、運営側でサブファシリテーターを用意しております。1 グループにつき、2 名のサブファシリテーターを配置します。

その役割は、基本的には記録です。話し合いをどのように回すかは、ファシリテーターの方が考えて行っていただきたいと思います。グループワークにおいては、ワーツと話された内容を全部記録したいのですね。その記録を冷静にやっていくのがサブファシリテーターの一番の役割になります。また、ルールを回しきれていないとか、うまくグループワークを進めていないときに、それをファシリテーターの皆様にも助言しますので、それを受けて、少し変えろとか、対応していただければと思います。また、ファシリテーターがどうしたらいいのだろうと悩んだときには、サブファシリテーターに、ファシリテーションの仕方について相談してみてください。そういった目的のために、サブファシリテーターを用意しています。

この場をサブファシリテーターが回していく、ということではありません。回していくのは皆さんで、話し合いをまとめていくのはファシリテーターです。そのファシリテーター、そして皆さんの話し合いを支援するためにサブファシリテーターを用意していますので、ぜひご活用いただければと思います。

ここまでの、これから5回のフォーラムをやっていく際の注意点ということになります。ここまでの内容を毎回ホワイトボードに貼っておきますので、分からなくなったときに見

ていただければと思います。

では、もっと具体的な話になります。フォーラムではグループワークを行いますけれども、グループワークは「ブレインストーミング」という手法に則って行います。

「ブレインストーミング」は、話し合いの手法のひとつです。一番重要なポイントは、ルールに従って話し合いを進めるということです。そうすることで、いろいろな人から平等に、対等に意見が出てくる。そういう場を作っていこうとする。そういう話し合いの方法です。

基本原則は、どんどんアイデアを出すということ。否定をしない、批判をしないということ。突拍子もないアイデアを受け入れるということ。そして、そういったアイデアを融合させて、新しいものを創り出していきます。

ブレインストーミングの基本的な進め方ですけれども、まずは目的とゴールを確認します。これは、具体的には青い紙を使って私のほうでやっていきます。その上で、意見を出す。出された意見について自由に話す、ということです。今、皆さんのお手元には付箋やペン、そして机の上には模造紙が用意されています。こういうものを活用して、意見を出し、それを整理していきます。出された意見をグルーピングして、タイトルをつける。さらには、そういう意見を「見える化」していく。こういった流れになります。

少し細かいけれどもポイントを説明します。意見を出すときには、これらをスムーズに行うために、付箋や模造紙を活用しましょう。また、意見は皆が言えるように、お互い心がけましょう。グルーピングするときは、似たような意見の書かれた付箋は近くに寄せて、囲ってみましょう。囲ってみたら、一言で「タイトル」をつけましょう。「見える化」するというのは、出された意見同士を矢印でつないだり、優先度をつけてみたりして、単なる意見ではなくて、その意見の間のつながりをしっかりと見えるようにするということです。このような進め方になります。

ファシリテーターに当たっている人は、困った場合の基本的な問いかけリストを用意しましたので、ご活用ください。基本的には、オープンエンドの問いかけをする。はい、いいえでは答えられないような問いかけで、意見を出してもらおうということです。さらに、意見同士の関係性を考えてもらうような問いかけもしてみる。それから、確認をする場合には、相手の発言を繰り返して、クローズエンド、はい、いいえで答えられる質問をして、意見を正しく認識する。こういうことをファシリテーターがやっていって、そのグループの話し合いを回していくということになります。基本的な質問の例をこのページに示しています。この文章の丸のところに言葉を入れて話すだけでも、十分にファシリテーションができるように書かれていますので、ご活用いただければと思います。

また、よく起こる困ったことを列挙しました。皆が黙ってしまう、1人がしゃべり続ける、話がテーマと離れてしまう、ということがよく起こります。皆が黙ってしまったら、少し

待って、こういう問いかけをしてみましょうとか。1人がしゃべり続けてしまったら、今回は1人1分のルールをお願いしていますので、それを越えたら、少し区切りを入れて、制するような動きをしてみるとか。話がテーマから離れてしまったら、「少し離れてしまったので、戻しましょう」というような言い方をしてみるとか。こういった点も、気づいたところで調整していただければと思います。

話し合いのルールとブレインストーミングのポイントは、赤い紙にまとめてあります。これも毎回皆様に配りますので、迷ったときには、ブレインストーミングの基本的な問いかけリストなどを見ていただければと思います。

それでは、グループワーク1の青い紙を見てください。

(総合F) 木村さん、ちょっと待ってください。

「グループワーク1(ファシリテーター)」と書いてあるくじを引いた方は、この後の話し合いの進行役をやっていただく、ということなのですね。ファシリテーターというのは、グループワークの進行役ということです。それを、皆さんの中で助け合ってやっていただくというシステムにしています。後ほど、そのファシリテーターの方を応援するサブファシリテーターが、今は周りに座っておりますが、ちゃんとグループの中に入って、一緒にやらせていただきます。5回の中で、皆さんに1回か2回はファシリテーターをやっていただくことになると思いますので、よろしくお願いします。

(木村) それでは、こちらの青い紙をご覧ください。こちらを読み上げていきたいと思えます。

グループワーク1では、「原子カムラ」とは何だろうか?ということについて、自由にお話しいただきたいと思えます。

その目的は、そもそも「原子カムラ」とは何かについて、それぞれの思うところを自由に話し合っ、いろいろな意見があるということを知っていただきたいということです。

今日はグループワークを3回行います。まずは1回目のグループワークについて、これを読んでいきます。

0. みんなでこの用紙を確認しましょう。これは今やっていることです。

1. テーマの質問(原子カムラとは何だろうか?)に対して、意見を書き出します。何だろうか、に対する答えですね。そういうものを、自分で思いつく限り書いてください。3分程度を区切って、ファシリテーターも含めて各自が意見を付箋に書き、手元にストックしておいてください。1枚につき、1つの意見です。意見の質にはこだわらず、たくさん意見を書くように心がけます。

2. 1人ずつ意見を読み上げながら、模造紙に貼っていきます。どのような意見が出ているかをみんなで確認しましょう。

ここまでが目安10分くらいと考えています。

3. 貼られた意見をグルーピングしてみましょう。

4. 意見に対して、質問やコメントを自由に言っていきます。また、意見と意見のつながりについても、コメントしましょう。ここでの発言は、サブファシリテーターがキーワードを付箋に書き出し、発言者に確認しながら貼っていきます。ゆっくりと落ち着いて話し合いを進めてください。

5. グループを見直して、それぞれに一言でタイトルをつけましょう。余裕があれば、それぞれの意見やまとまりについて、「見える化」しましょう。

合わせて 30 分のグループワークということになります。

ファシリテーターは、先ほど総合ファシリテーターから話がありましたけれども、くじに「グループワーク 1 (ファシリテーター)」と書かれている方です。よろしく願いいたします。この青い紙を読み上げるだけで、進行が最低限できるようになっていますので、まずはこれをベースにして進めていただければと思います。

時間は 30 分です。時間の目安を参考にして、適切に進めていただければと思います。グループワーク終了の 15 分前と 5 分前に、総合ファシリテーターからアナウンスがありますので、それにも注意を払ってみてください。

グループワーク 1 の後、グループを交換します。そしてグループワーク 2 になりますが、市民 1 人、専門家 1 人が「宿主」となって、そのグループに残り、グループワーク 2 の最初に、グループワーク 1 のときに話し合われた内容を伝える役をします。くじに「宿主」と書いてある方が、それにあたっていることになります。宿主の方は、その付箋がどういう意図で書かれたのかをしっかりと理解するように、頑張って質問などもしていただければと思います。また、宿主の方は、最後の全体共有のときに、グループワーク 1 の結果を全体の前で話す役割になっています。かなり重要な役ですので、よろしく願いいたします。

最後に、模造紙の下 1/4 程度は、線で区切って空けておいてください。その上がグループワーク 1 で使う部分ということになりますので、よろしく願いいたします。

以上です、大丈夫でしょうか。

(総合 F) それでは、グループワーク 1 をこれから 30 分でやっていただきます。ファシリテーターに指定された方が青い紙の内容を読んで、そして皆さんのフォローと、サブファシリテーターも少し応援していただいて、始めていただければと思います。なお、お茶やトイレ休憩に関しては、グループごとに適宜取っていただければと思います。

テーマは、「原子カムラ」とは何だろうか。皆さんが自分で考えて、意見を出し合うということでスタートしていただきたいと思います。

サブファシリテーターさん、準備はよろしいですか？

それでは、いろいろ質問したいこともあると思いますが、それぞれのグループの中で話し合いを始めていただければと思います。よろしく願いいたします。